



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介  
出席報告：会員70名 出席58名 出席率82.86% 前回出席率80.00% 修正出席62名 確定出席率88.57%

## 鶴岡市織物海外見本市に参加して

鶴岡市役所商工観光課長 延 味 幸太郎 氏



本日のロータリークラブの例会におきまして、貴重な時間を私にお与え頂き心から感謝を申し上げます。

今年の山形県織維海外見本市は去る9月28日から3日間ニューヨーク市で開催されたのでありますが、今回で5回目になります。

この見本市は本県の織維産業振興の一環として、アメリカ、カナダに販路拡大を図るために昭和53年度から実施してきております。

第4回までの見本市は鶴岡織物、米沢織物、山形県ニットの三者が同一会場で同一期間展示というパターンでしたが、今回は各産地が独自に見本市を開催して各特徴を打出し、従来の総花的な物産展示のみに止らず商取引を主体にしようとの新たな試みをもって実施されました。

今回の派遣団のメンバーは山形県の斎藤観光物産課長(団長)、羽前絹練(株)の大和常務取締役(副団長)松文産業(株)伊藤取締役生産部長、松岡機業(株)の大森生産課長と私の計5名でした。

9月25日、成田にて結団式とニューヨーク市場の情報交換・検討を行ない、翌26日日航機で成田を立ちました。

見本市会場はブロードウェイに面した1441ビルの22階にあります西田通商(株)の事務所の2部屋を借り1部屋を物産展示会場、他の1部屋を商談コーナーとして使用しました。

今回の展示品は松文産業から114点、松岡機業から20点の計134点であります。

初日28日夕方から市内の日本クラブで現地の主な商社をお招きして「鶴岡織物求評懇談会」を開催いたしました。尚当日午後には、鶴岡市の姉妹都市であるニューブランズウィック市を親善訪問されました鶴岡市長、鶴岡市議会議長、R.C.の新穂直前会長を始めとする一行9名の方々も会場にお越し頂き、

状況をご覧いただきました。「求評懇談会」は真摯な意見交換の中にも終始なごやかな雰囲気でご充実した意義深いものであったと存じます。

2日目からは本格的な商社との打合せ、商社の同行も求めて生地問屋に入りコンバーターとの商談やカッター工場への訪問等精力的な活動を展開しました。

3日間を通じて展示会場には商社等30社近くの方にご来場頂きました。そして展示品の一つ一つをていねいに、真剣に見ていただきましたし、展示品のサンプルブックの他に展示品そのもののスワッチの要求がシルクもの20数点、ポリエステルもの65点程、また引合いも30件程ありましたし、期間中に商談成立もありました。これは前回までになかったことであり、ねばり強い商談等が効を奏したものと、高く評価されると存じます。

西田通商(株)の宮園副社長からナンシーアメリカ大統領夫人の写りが載っている新聞のコピーを見せられ「このナンシー夫人の着ている服の服地は松文産業の作品である」といわれまして、鶴織の製品が着実にアメリカに定着していることを確認し、鶴織の面目の躍如たるものを感じた次第であります。

このように、今回の見本市も極めて好評であり、予想通りの成果を収めたものと存じますし、今後もスワッチを持ち帰った商社、或は引合いのあった商社等から多くの発注があることを大いに期待したいと思っております。

ちなみに昭和53年の第一回目からの契約高の推移をみますと、引合 契約

	件数	件数	契約高	計
第1回	鶴織( ? )	( 12 )	20,000 冊	122,000 冊
S53年	米織( ? )	( 20 )	102,000 冊	( 100% )
第2回	鶴織(127)	( 23 )	78,348 冊	354,553 冊
S54年	米織(254)	( 45 )	276,205 冊	(293.4%)
第3回	鶴織(205)	( 55 )	164,700 冊	415,188 冊
S55年	米織(128)	( ? )	250,488 冊	( 116% )
第4回	鶴織(227)	( 58 )	198,160 冊	603,833 冊
S56年	米織(309)	( 48 )	405,673 冊	(145.4%)

(いずれも翌年の5月末現在のデータ)

S53とS56を対比してみますと、鶴織で約10倍、

庄内空港の建設を推進しましょう

鶴織、米織合計でも約5倍の躍進を示しております。今年も更に多くの成果を期待して止まない次第であります。

## 会長報告

中江 亮君

理事会についての報告

- 国際青少年交換について～高専校と鶴岡工業高校から2名の派遣希望者がありましたので、委員会で選考された結果とその経過について石井敬三委員長からご報告があり、結果を直接本人に通知することに致しました。
- 出席奨励について～出席率の低迷する現況について佐藤順治委員長のご報告があり、理事会の方針として出席の良くない方に個々にご理解と認識喚起を申し上げて努力を続けられるようお願いを致しました。
- 会員増強について～石黒ガバナーの公式訪問に報告出来る資料がまだあげられていない理由について阿部公一委員長のご報告があり、所期の目的を達成するため2名程度の委員を補強することに決定し、その人選を近々致すことにしました。
- ニューブランズウィックR.C.との姉妹クラブ交流を今後如何に進めるべきかについて直接先方の会員と会われた新穂光一郎さんに手紙を出して頂くことにしました。
- 地区I.C.顧問教師研修旅行費用として、2名分¥65,000を支払うことにしました。
- 来年の4月24日地区I.C.の指導者講習会を当鶴岡クラブがホストを要請されたので、行事の企画を高専高の篠崎孝一先生とI.C.地区委員の田宮長二さん(温海R.C.)をお願いすることにしました。
- 公式訪問の日程表がガバナーから通知がありました。
- 11月6日午後5時、羽黒に於て開かれるスイス友の会にクラブ会長として出席して来ます。

## 幹事報告

佐藤元伸君

- 1. 酒田東R.C.より創立15周年記念誌到着。
- 2. 社団法人日本の松の緑を守る会より入会の案内到着。
- 3. 張紹淵氏より貯金箱を当クラブにいただきました。

## 親睦活動委員会

張 紹淵君

会員誕生 藤川享胤君、風間慶三君、中村富昭君、  
佐藤 衛君、鈴木善作君、丹下誠四郎君  
奥様誕生 早坂さえ(源四郎)様、小松久子(広穂)様、  
中田安子様、菅原和子様、佐々木雪子様、  
丹下せい子様

## 出席委員会

佐藤順治君

- ◎年間皆出席 20年間皆出席 新穂光一郎君  
4年間皆出席 藤川享胤君  
1年間皆出席 小松三雄君
- ◎10月100%出席 56名

## スマイル

三井 健君 開店を記念して  
(今週の担当者 中江 哲夫)

## S.A.A委員会打合せ記録(概要)

57.10.26(火) 午後6時から於・中国飯店  
出席者・石川委員長ほか11名

○最初に7月以降本日まで例会設営にあたって、S.A.Aとしての活動状況についての反省と今後の活動にどうその反省を活かすかについて話し合いました。

### 1. 例会会場での出迎え方について

S.A.A.委員が多数でタスキをかけて入口に並んで出迎えられると、何となく敷居が高い感じで入りにくいのではないかとの問題提起があり、色々議論が活発におこなわれました。

その結果、

- ① 会場の設営・準備は全員がなるべく早くきてみんなでやる。
  - ② タスキは委員長と早く来た2人程度がかけることにし、他の者は席につく。(タスキをかけた者はかけたまま最後に着席する)
  - ③ 後片づけはS.A.A.全員でやる。
- 以上について意見が一致しました。

### 2. 例会会場での着席順について

7月の委員会で奇数月の第1例会は先着順に指定した席についてもらうことによって会員の親睦の範囲を拡げたいと決めましたが、仲々円滑にいかないの、もう一度意識統一をはかりたいということで色々議論がありました。

その結果、

- ① 奇数月に1回席順を決めることは会員親睦のために必要である。
  - ② 試行的に先着順着席の方法を1回やってみて、会員の反響を見てその後続けるかどうか決める。ただし、ビジター、ゲスト、会報委員の席は従来どおり指定する。また後方10席程度は出席予定数がわからないので保留しておく。
  - ③ 委員会毎に集める方法は、クラブ協議会のある日の例会の際実施する。(打ち合せに便利なので)  
次回は11月16日の例会におこなう。
  - ④ 1月の例会では百人一首方式で実施する。
- 以上について意見が一致しました。

○委員会としての打ち合せが済んだあと、ロータリー情報委員長の小池さんからお話を聞き、勉強会をおこないました。小池講師からはロータリー活動における欧米と日本との民族性の違いによる若干の差について具体的な例を挙げながら含蓄の深いお話があり、日本人の民族性思想にあったロータリー精神と活動があってもよいのではないかとということで結ばれましたが、新入会員の多いS.A.A.としては大いに啓発されるものがありました。

○最後にプログラム委員会の三井さんから、10月以降今年末までのプログラム日程についてお知らせがあり、懇談ののち散会しました。

## ビジター

余目R.C. 佐々木尚伸君  
鶴岡西R.C. 鈴木昭吾君、長野正彦君、  
菅原幸雄君、菅沢久弥君